

講義名	19-業界研究(製造業)/15-企業論特別講義(製造業)			授業形態	
担当教員	持田 信治	開講期・曜日・時限	後期 月曜日 3時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

主題と概要

講義は製造業に関して理解を深めてもらい、ものの価値を創造したり、ものの価値を高める手法の実際を知ることを主題とする。そこで、本講義では以下の観点から企業の方々に話を伺う。
 (1) ものを創造して価値を生み出す方法について。
 (2) 高度なものをつくる場合の進め方について。
 (3) スカとソフトウエアの組み合わせを持つものづくり方について。
 (4) ものを造るのではなく、要求に合うものを探していく場合の進め方について。
 (5) ものづくりとブランド構築について。
 製造業に興味のある学生の受講を希望する。

到達目標

製造業の実際と状況についての理解を深めることを目標とする。具体的には本講義を受講することにより製造業が持つ組織や働きについて理解を深め、製造業に関して正しいイメージを持ち、製造業の活動について説明できるようになることを目標とする。加えて、ものの価値とユーザの関係を理解することを目標とする。

提出課題

講師内容に関するレポートの提出を要求することがある。

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバックの方法

まとの回に課題に関する解説とフィードバックを行う。また必要に応じて講義内で説明を行う。

評価の基準

本講義の評価は授業への参加度と講義内容に関する小テストと課題によって行う。評価の割合は授業への参加度(50%)、講義内容に関する小テスト(30%)、および課題(20%)とする。また、授業への参加度には発表、発言を考慮する。ただし発表と質問については建設的な質問や意見を期待する。特に自主学習が推奨される質問や意見は評価する。

履修にあたっての注意・助言他

本講義は外部から講師を招くため、最低限のルールを守ることとを定める。遅刻、私語、飲食は厳禁とする。またカバンや飲食物物を机の上に並べること及び授業途中での退席はしないこと。最低限のルールができていない学生は、受講を認めない場合もある。また、質問を行う等の積極的な参加を期待する。

教科書

--	--	--	--	--	--

参考図書

--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--

その他

使用しない。

授業計画

以下の講義を予定している。しかし外部講師の都合により、講師及びスケジュールは変更される可能性がある。
 第1回 インTRODクション / 講義 持田 信治
 第2回 三菱日立パワーステムズ環境ソリューション(株) 常務取締役 荒井利明氏
 第3回 株式会社 安川電機技術開発本部 石橋 一郎氏
 第4回 途中まとの講義 持田 信治
 第5回 ダイキン工業株式会社 顧問 岡田 慎也氏
 第6回 豊野コルク工業株式会社 代表取締役 片岡孝次氏
 第7回 ニス電機株式会社 FASシステム事業本部 機器事業部 武原 純二氏
 第8回 途中まとの講義 途中まとの講義 持田 信治
 第9回 海洋研究開発機構 海洋工学センター 海洋基幹技術研究部 部長 吉田 弘氏
 第10回 株式会社テックソリューション 取締役事業部 佐 坂 一 氏
 第11回 東洋紡株式会社 技術革新統括部 主幹 深見 拓也氏 持田 信治
 第12回 途中まとの講義 途中まとの講義 持田 信治
 第13回 いすゞ自動車株式会社 理事 高原 正 雄氏
 第14回 講義 外部講師
 第15回 まとの講義

授業形態(アクティブ・ラーニング)

ア:PBL(課題解決型学習)	イ:反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
ウ:ディスカッション、ディベート	エ:グループワーク
オ:プレゼンテーション	カ:実習、フィールドワーク
キ:その他(A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間

本科目は2単位であり、2単位の習得に必要な学習時間は90時間である。具体的には講義で30時間、予習・復習に各30時間が必要である。従って、15回の各授業あたり、授業時間外で60時間の学習が達成できるように主体的・積極的に取り組むことを希望する。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本科目はディプロマポリシーにある、学生の志望に応じて特定の専門分野を深く学ぶための能力を身に付けることに寄与する。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

実務経験あり、実務ではプロジェクトマネージャとして多くのプロジェクトの計画、開発に従事した経験を持ち、経験を生かした具体的な事例を講義中に説明する。

備考